

# ヤマブドウ剪定の方法

## < 2年目の剪定のポイント >

樹形を整える目的のほか、結果母枝を確保するために、以下に留意し冬期剪定を実施します。

成木に達するまでは、樹形を整えることを優先する  
主枝を決定し、地際部から出た枝を切除する  
樹勢を観察し、適切な剪定の強さとする

### 1 はじめに

成木に達するまでは樹形を整えることを優先し、樹冠を拡大させながら結実させるように整枝剪定を実施します。

ヤマブドウは樹勢が強いため、強剪定を行うとますます伸長生長が促進されますので、あまり強い剪定を行いません。また、地際部から発生した強勢の枝は間引きで除去しましょう。

### 2 生長が悪い場合

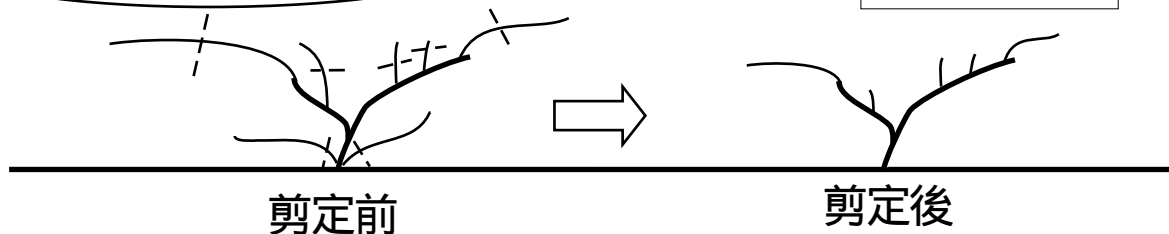
生長が悪い場合（新梢の伸長生長がおおよそ1m以下）は、樹勢回復を目的として剪定を実施します。樹勢を回復させるために強めの剪定とし、弱い枝は間引きで除去し、強い枝を残しましょう。

### 3 生長がよい場合

生長がいい場合（新梢の生長がおおよそ1m以上）では、結実させながら樹冠を拡大していくことを目的として整枝剪定を行います。

主枝が決定していますので、主枝をこれ以上広げないようにし、今年伸びて木化した熟梢のうち充実したものを結果母枝とします。結果母枝は左右の主枝に均等に配置し陽光採取の点でバランスを整え、結果母枝数が多いときは間引き調整しましょう。

#### 生長が悪い場合



#### 生長がよい場合

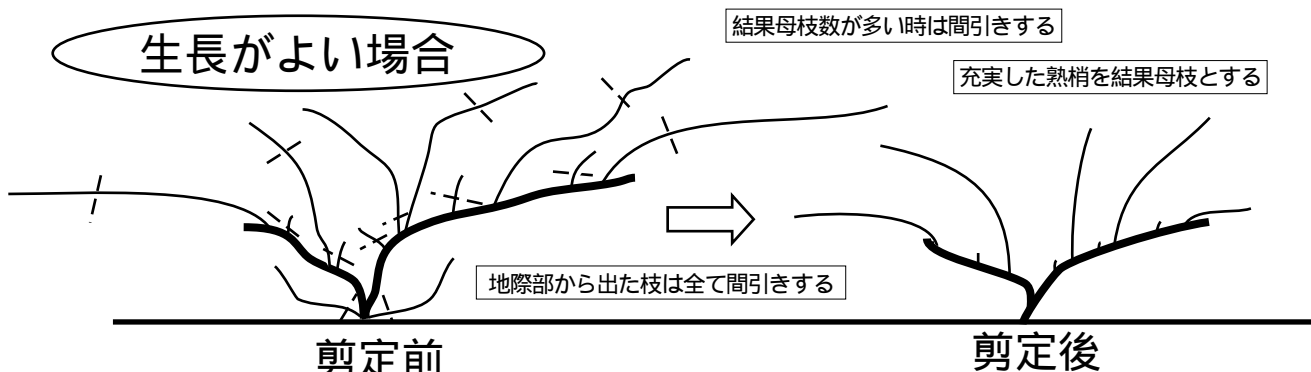


図 ヤマブドウの剪定方法

(担当 林産利用部 主任専門研究員 泉 憲裕)

連絡先

028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第3地割560番地11  
岩手県林業技術センター  
ホームページアドレス <http://www.pref.iwate.jp/~hp1017/>

TEL 019-698-1337  
FAX 019-697-1410